

伴走支援体制

目標に向けた課題解決や効果的な学びを得てもらうための伴走の仕組みを整えています。
目指したい姿や元々持っている能力や知識に対して、一律に同じものを提供するのではなく、
必要な学びの提案や個別の課題に対するサポートを行います。

メンター

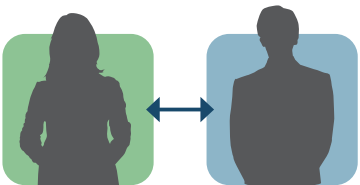
学生の成長に寄り添い、目標達成に向けた学習を支援

主な役割

- 特性や力量を踏まえた学習設計のアドバイス
- 目標・進捗管理
- 仮説検証実施・分析サポート
- 相談先(専門家)の検討



メンターの関わり方



学生 メンター

月に数回、オンラインもしくは対面にて面談

主な面談内容

- 基礎学習行程で学ぶべき知識・スキル
- ビジョンメイキングやアイディエーション時の意見交換(壁打ち)
- 仮説検証計画・検証フィールドの検討
- 外部コーチ活用の検討
- 日々の進捗報告・悩み

活動を後押しするメンターたち



仲野 真人 (なかの まさと)

株式会社食農夢創
代表取締役

2005年立教大学経済学部を卒業、野村證券(株)に入社。2011年野村アグリプランニング&アドバイザー(株)に出向。2019年退社後、(株)食農夢創設立。2021年には明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科を首席で卒業。現在は農業法人や食農企業の経営支援およびビジネスマッチング、農業塾の講師、プラットフォームの運営まで幅広い業務を手掛ける。

Message

昨今、円安や資源高により農林漁業を取り巻く環境は特に厳しい状況が続いております。50年後、100年後に農林漁業を繋いでいくために、今こそイノベーションが求められています。これまで農林漁業分野の経営支援やビジネスマッチングに携わってきた知見・ネットワークを注ぎ込み、イノベーションの具現化のために全力で支援いたします。一緒に農林漁業の未来を切り開きましょう！



名取 隆 (なとり たかし)

立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科
教授

1980年東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行(現・日本政策投資銀行)入行。約30年間、新規事業への投資・融資業務等に従事。自治体へ出向し起業家育成政策を経験。2009年から立命館大学教授に転じ、現在に至る。大学では起業家養成目的の実践型授業を担当。名取ゼミから数社のスタートアップも輩出。英国ロンドン・ビジネス・スクールに留学経験。東北大学で技術経営分野の博士号(工学)を取得。

Message

起業家を志す方は孤独になりがちだと言われますが、その心配はいりません。私たちメンターが最初から最後まで支援します。私は前職の金融機関で多くのベンチャー企業を支援してきました。現在も大学で起業家教育に従事し、ゼミから起業家を輩出しています。皆さんに寄り添い、共に悩み、気づきやヒントを提供しながら目標達成まで歩みます。一緒に夢を実現させましょう！

外部コーチ

AFJのネットワークを活用し、学生の専門的な課題解決を支援

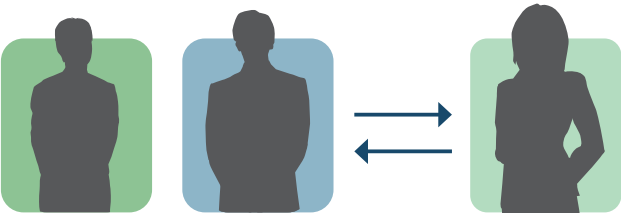
主な役割

- 各学生の専門的な課題解決を支援
- 専門性を背景に目標達成に必要な新たな気づきを促す



※外部コーチの一覧はこちら➡

外部コーチへの相談の流れ



学生 メンター 外部コーチ

- 1 自分では解決できない専門的な課題に直面
- 2 外部コーチへの相談をメンターと検討し、決定
- 3 リストから相談先を選定し、相談事項(依頼内容)を決定
- 4 学生もしくはメンターから外部コーチに依頼
- 5 外部コーチとの面談実施
- 6 面談内容をもとにメンターと課題解決に向けた取組みを決定

※ 外部コーチへの相談は最大10回まで(1回あたり1時間程度)

相談内容(例)

課題や事業アイデアの検討／仮説検証フィールド・手法の検討／検証結果の分析・見直し

相談先のカテゴリ例

起業／戦略／マーケティング／研究開発／生産／加工／バリューチェーン／販売／資金調達／財務／法務／税務／人材マネジメント

外部コーチへのご紹介

- 株式会社農業総合研究所 代表取締役会長CEO 及川 智正
- 株式会社浅井農園 代表取締役社長CEO 浅井 雄一郎
- 株式会社日本農業 代表取締役 内藤 祥平
- 株式会社Cultivera 代表取締役CEO 豊永 翔平
- 株式会社鈴生 代表取締役 鈴木 貴博
- 前田農産食品株式会社 代表取締役 前田 茂雄
- アグリビジネス・ソリューションズ株式会社 代表取締役 森 剛一
- 株式会社クリエイティブ・ジャングル 代表取締役社長 竹林 陽一
- JA総合営農研究会 代表委員 黒澤 賢治
- 株式会社I-ABC 代表取締役 伊沢 豊
- 株式会社農林中金総合研究所 理事研究員 阮 蔚
- 公益財団法人流通経済研究所 主席研究員 折笠 俊輔
- 株式会社NX総合研究所 シニアコンサルタント 井上 文彦
- 株式会社NX総合研究所 シニアコンサルタント 磯村 誠二
- 株式会社NX総合研究所 シニアコンサルタント 宮里 隆司
- 株式会社NX総合研究所 主任研究員 シニアコンサルタント 吉藤 智一
- ハウス食品グループ本社株式会社 研究開発本部 アグリ素材開発部 部長 福森 直仁
- ハウス食品株式会社 開発研究所 開発三部 部長 藤井 弾
- 株式会社UnlocX 取締役 Insight Specialist 岡田 亜希子
- 株式会社UnlocX 取締役 Startup Specialist & Geek 住 朋享
- 株式会社TOWING 取締役COO 木村 俊介
- 株式会社和郷 ナレッジバンク事業統括取締役 高橋 義直
- 株式会社NTTデータ 部長 大川 英敏
- 株式会社NTTデータ 課長 山本 悠介
- イノチオアグリ株式会社 執行役員 技術本部長 大門 弘明
- 東京農工大学 学長付 特任教授 濱田 隆徳
- 東京農業大学 国際食料情報学部 教授 内山 智裕
- 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士 井上 龍子
- 株式会社農林中金総合研究所 理事研究員 平澤 明彦
- 株式会社農林中金総合研究所 主任研究員 小針 美和
- 宮城大学 名誉教授 池戸 重信
- 豊橋技術科学大学・愛媛大学 教授 高山 弘太郎
- 玉川大学 経営学部国際経営学科 教授 神谷 渉
- 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事 森田 敏
- 公益財団法人流通経済研究所 特任研究員 高橋 佳生
- 株式会社売上UP研究所 代表取締役 渡邊 卓

※2025年2月28日現在

基礎学習行程(約3ヶ月)

市場環境や課題の捉え方、事業アイデアの検討などに必要な知識・情報を、3つの領域(イノベーション・ビジネススキル・アグリビジネス)から学びます。

- 科目は必修と選択があり、選択科目は、メンターとの事前の学習設計で決めたものや興味のあるものを選択して受講します。
- 働きながらでも学べるよう、平日夜間のオンライン講義(ライブ)や動画教材、土日の集合研修を実施します。

オンライン講義:平日18:50～/週2～3コマ(1コマ90分)
集合研修(対面:品川本校):土日10:30～17:50/月2日～4日
※基礎学習行程終了後の7～2月までは月2日程度での集合研修を予定。



イノベーション			必修
市場環境の捉え方とイノベータースキル・思考法の基礎を習得			
科目名	概 要	講 師	
未来志向概論	基礎学習行程での学びを系統的に振り返り、未来志向でのアグリビジネスのアイデアをまとめる要件について理解を深めます。	三村戦略パートナーズ株式会社 代表取締役 イノベーター養成アカデミー 主任教授 三村 昌裕	
市場環境概論	アグリビジネスを取り巻く市場環境の捉え方を学び、広い観点から農業課題を捉え「問い」を立てる力を涵養し、自ら解決すべき農業課題とイノベーション要素を見出す力を身に付けます。		
アントレプレナーシップ概論	解決すべき課題テーマにおいて「あるべき姿」へのビジョンを描き、現状とのギャップからビジョン実現へのロードマップを描きます。提供価値やソリューションと優位性について検討します。		
仮説検証思考法	ロジカルシンキング等を活用する事で、アグリビジネスを通して自ら解決すべき課題テーマを論理的に設定し、解決策を構造的に立案でき、重要な仮説について検証する手法を習得します。		
顧客価値創造概論	自ら取り組むべき課題テーマに立脚した顧客を設定し、各種フレームワークを活用して顧客課題や提供価値を検討し、顧客価値創造の構図を捉えるスキルを身に付けます。		

メイン講師



三村 昌裕

(みむら まさひろ)

三村戦略パートナーズ株式会社 代表取締役 / 情報経営イノベーション専門職大学 客員教授
株式会社ゆとりの空間 取締役

1969年、長崎市生まれ。東京工業大学で都市計画を専攻。大学院修了後、2001年に三村戦略パートナーズを設立。大企業支援やスタートアップ上場経験を通して、社会課題解決型事業創造を体現する北大発ベンチャー、ポラスター・スペースを設立。農業課題解決事業として経産省J-startupに選定される。現在、人と組織を軸に企業のハイインパクト事業創造の再現性ある取組を支援する「仕組化」に取り組んでいる。

Message

ビジネスへの着想は、私たちが直面する課題と向き合うことから始まります。アグリビジネスは地球規模の課題テーマへの挑戦。未来の予測が困難な時代だからこそ、自ら主体的に行動することが求められます。未来は、自分たちで創造する。私たちは、皆さんの挑戦する強い意志と行動を全力でサポートします。一緒にアグリビジネスを通して、未来を切り拓きましょう。

ビジネススキル

イノベーションプラン策定に必要な基本スキルを習得

ビジネススキル

選択

科目名	概 要	講 師
マーケティング概論	マーケティングの考え方、各フレームワークの活用方法について学びます。	外部オンライン教材 udemy business™
ロジカルシンキング概論	思考プロセスや考え方、各フレームワークの活用方法について学びます。	
クリティカルシンキング概論	目的や用途、各フレームワークの活用方法について学びます。	
ラテラルシンキング概論	物事を多角的に見るラテラルシンキングの重要性、それぞれの思考法の違いや関係性、フレームワークの活用方法を学びます。	
コミュニケーション概論	ディスカッションやプレゼンのスキル、リーダーシップの考え方について学びます。	
スタートアップファイナンス	スタートアップに必要なファイナンスの知識について学びます。	東京農工大学 学長付特任教授 濱田 隆徳

ビジネスプラン策定基礎

選択

科目名	概 要	講 師
事業計画策定(戦略)	事業計画策定において活用する環境分析、事業アイデア等のフレームワークを学び、事業計画を策定する方法を学びます。	株式会社売上UP研究所 代表取締役 中小企業診断士 渡邊 卓
事業計画策定(計画[戦術])	事業計画策定において計画(戦術)の重要性を理解し、生産、開発、販売、財務などの計画を作成する方法について学びます。	
事業計画策定(中長期プラン)	事業計画策定における中長期プランの重要性を理解し、経営理念や目標設定、到達シナリオや事業性評価の手法について学びます。	
事業計画策定(リスク検討)	事業計画策定において、リスクマネジメントの重要性を理解し、事業者としてリスクを効果的に管理する方法を学びます。	

アグリビジネス

世の中のトレンドや食品産業の構造、農業政策・制度、農業が抱える課題を学ぶ

選択

科目名	概 要	講 師
農業経済	農業経済の全体像や食料需給の特徴、農業の収益性などを理解し、日本農業の課題解決に向けた方向性を学びます。	東京農業大学 国際食料情報学部 教授 内山 智裕
日本の食料・農業政策	現代日本の食料政策と農業政策について、基本的・包括的な知識と政策のあり方に関する的確な鑑識眼を養います。	株式会社農林中金総合研究所 主任研究員 小針 美和
世界の食料・農業政策	諸外国の政策の仕組みと最近の流れを理解し、国際比較を通して日本の政策を相対化する視点を得ます。	株式会社農林中金総合研究所 理事研究員 平澤 明彦
食料・農業の法律	アグリビジネスイノベーターとして、知っておくべき農業・食品産業に関する法規制の枠組みと概要を学びます。	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士 井上 龍子
食品安全衛生に関するリスク管理	“利益につながる「攻め」のリスク管理”としてGAPやHACCPの活用法をはじめ、食品表示制度について学びます。	宮城大学 名誉教授 (一財)消費科学センター代表理事 池戸 重信
農業経営のリスク管理	農業経営におけるさまざまなリスクを洗い出し、対応の考え方と事例、ICTの活用について学びます。	国立研究開発法人農業・食品産業技術 総合研究機構 理事 森田 敏
農業技術のトレンド	高効率農業生産における栽培管理、植物生体情報計測技術を概説し、高度環境制御型施設園芸のあり方を展望します。	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 機械工学系 教授 愛媛大学大学院 農学研究科 食料生産学専攻 教授 高山 弘太郎
食と環境のトレンド	食と環境に関するグローバル動向を紹介し、自分は何をすべきか、考えるヒントとなる講義を行います。	東京農工大学 学長付特任教授 濱田 隆徳
消費者動向	消費者行動や心理を捉えるための考え方を身につけると共に、消費者を理解するための具体的な方法について学びます。	玉川大学 経営学部 国際経営学科 教授 神谷 渉
食品流通論	国内のフードバリューチェーンの現状と課題について学びます。	公益財団法人流通経済研究所 特任研究員 高橋 佳生

※ 上記科目は、現時点での予定であり、提供までに変更となる場合があります。

※ Udemy Business受講料は学費に含まれており、在学期間中いつでもご利用いただけます。

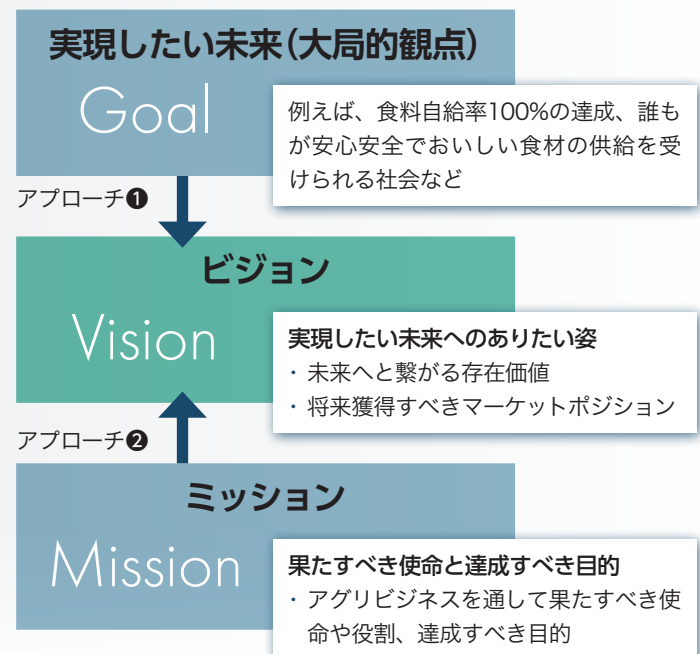
戦略立案・仮説検証行程(約6ヶ月)

本アカデミーにおける教育の軸となる行程です。イノベーションアイデア構築プロセスを身に付け、実践・検証に基づく修正を繰り返すことで、実社会で求められるサービスやプロダクトを構築します。

ビジョンメイキング

アグリビジネスにおける環境分析や自分の思いをふまえて、取り上げるテーマを決めます。課題テーマの解決を通して成し遂げたいことや未来のあるべき姿などビジョンを設定します。

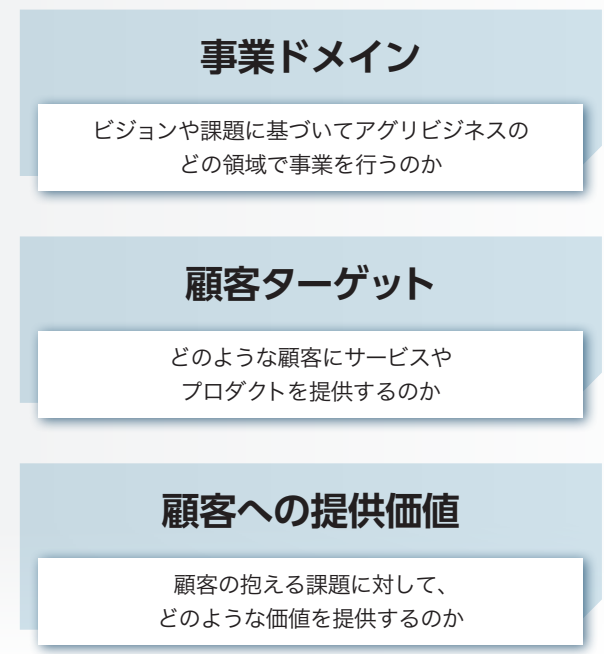
ビジョンを描く際の2つアプローチ



課題仮説& アイディエーション

自らのビジョンと解決すべき課題テーマに基づいて、アグリビジネスのどの領域で、誰に、どのような価値を提供するかアイデアをまとめます。

アイディエーションで検討すべき要件



実践研修

市場探索、企業訪問・研修、視察等を通じて、現場で課題やイノベーション機会、アイデアの種を見つけます。また、戦略立案・仮説検証行程で市場や顧客の実際の反応を見るために、実践的に検証を行うことができます。

研修例

- フードバリューチェーン(生産・加工・流通・販売等)の流れに沿った各プレイヤーの拠点視察
- 農業法人や企業における短期間のインターンシップ(現場での取組みを通じた課題の発見、仮説検証)



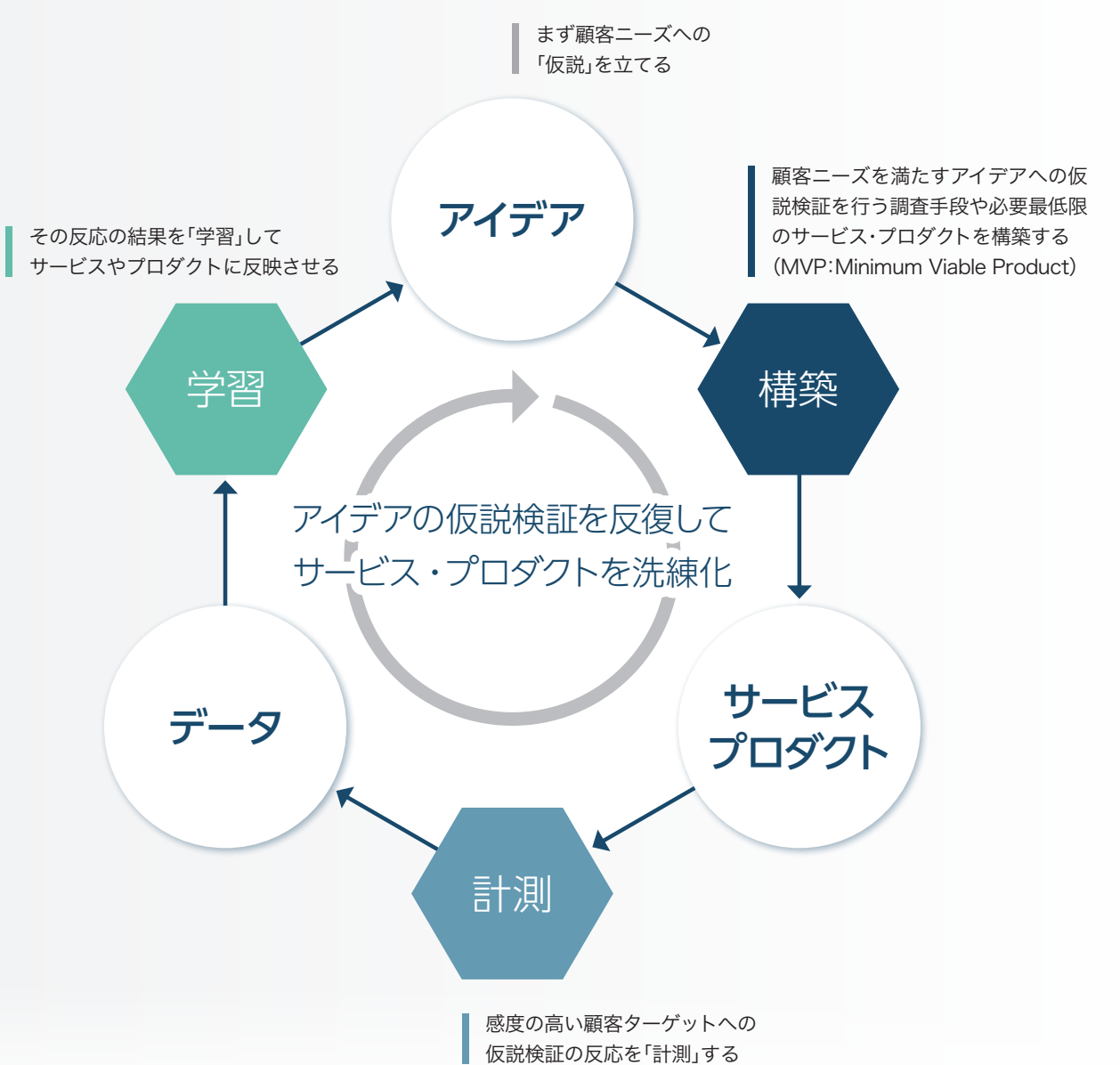
※ 必要に応じて行う活動のため、実施にともなう調整や費用は各自の負担となります。



仮説検証計画の策定・実施

考えたアイデアやコンセプトを起点に、素早く形にして、顧客の反応を見ながら、構築(build)→計測(measure)→学習(learn)のサイクルを反復します。事業への仮説検証と学びを通して、サービス・プロダクトなどの事業の要件や仕様を洗練化し、事業成功度を高めます。

仮説検証ステップ(アイデアやサービス・プロダクト洗練化の検討サイクル)



事業計画策定行程(約2ヶ月)

仮説検証の結果をもとに、アグリビジネスイノベーターとしてチャレンジすべき事業の要件を示すとともに、新たな顧客価値創造を通して持続可能な事業計画を策定します。

事業計画として対外的に説明可能な形にまとめることで、資金調達に活用できる計画を作り上げます。

戦略立案・仮説検証行程の成果

ビジネスプラン策定フレームを活用して
内容を精査、整理して取りまとめる



財務計画等の数値シミュレーションを行う



検討に基づくビジネスモデルとして、
エグゼクティブサマリーに取りまとめる

● 最終アウトプット

エグゼクティブサマリー

事業計画の概要や重要な論点、数値情報などを整理しまとめたもの。主に事業の概要を簡潔に説明するために使用。



最終発表用資料



検討・決めるべき項目

- ・バリューチェーンモデル検討
- ・主要ステークホルダー設定
- ・リソース計画及び投資計画策定
- ・資金調達計画策定
- ・売上の予測モデル検討
- ・事業費用計画
- ・シナリオによる推移想定検討
- ・事業評価
- ・CF/PLの計画策定(5ヶ年分)
- ・リスク要因特定
- ・重要成功要因(KSF)の検討
- ・差別化及び展開戦略策定

各種発表会

全3回の発表の機会を活用して、仮説検証や修了後のビジネスの協力者募集、アイデアやビジネスモデルの評価を確認します。

※ 非公開での発表も選択可

アイデア発表

8月下旬

解決したい課題は何か、事業アイデアや今後どのような検証を行っていくのかを、AFJ会員や関係者に向けて発表します。

評価ポイント

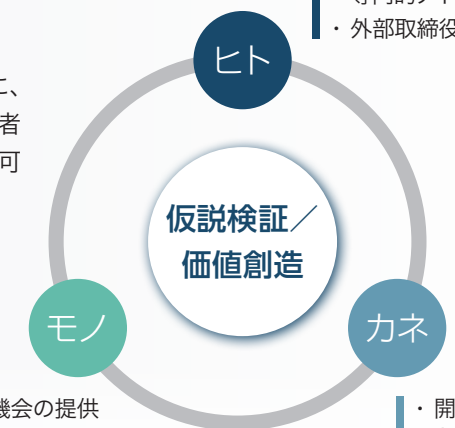
課題への着眼点やイノベーション要素、事業アイデアが適切に設定されているか。

協力依頼例

- ・ハンズオン支援
- ・専門的アドバイス
- ・外部取締役として参画



希望者は発表時に、仮説検証等の協力者を募集することが可能です。



- ・実習機会の提供
- ・拠点提供
- ・技術、ツール提供

- ・開発費用の提供(共同開発の機会)
- ・検証費用の提供(共同検証の機会)

中間発表

12月中旬

実際に行った検証の結果をもとにアイデアをビジネスモデルとしてまとめ上げ、発表します。

評価ポイント

顧客ターゲットや提供価値、事業KPI等の事業要件が裏付けを持って設定されているか。

最終発表

2月下旬

これまで考えてきたビジネスモデル・事業計画を、AFJ会員や関係者等、多くの人たちに向けて発表します。

評価ポイント

アグリビジネスイノベーターとしてチャレンジすべき事業であるか、持続可能な計画となっているか。

